

11月2日（月）全校朝会

まず初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。11月に入りました。今週はあいさつ週間です。しっかり挨拶しましょうね。

さて、今週の木曜日11月5日は、誕生日です。誰の誕生日か分かりますか。正解は、北ノ台小学校の誕生日です。学校の誕生日は開校記念日と言いますね。今年で52歳になります。そこで、今日は北ノ台小学校の校章についての話をします。



北ノ台小の校章は、ある花がモチーフとなっていますが、これは皆さん分かりますね。そうです。タンポポの花です。今、北ノ台小学校の校舎があるこの場所は、学校が建つ前は、畑でした。その畑にはタンポポの花が一面に咲いていてとても鮮やかだったそうです。それで、校章のデザインになったそうなのですが、この校章には、北ノ台小学校の子供たちに、タンポポのような人になってほしいという願いも込められているのです。

どういうことかと言いますと、タンポポの花というのは、どこにでもある花ですが、大地にどっしりと根を下ろし、寒い北風にもめげず、春には鮮やかな花を咲かせます。また、タンポポの種は、綿毛となってどんな場所へも飛んでいき、その場所でしっかりと根を下ろし、美しい花を咲かせ、仲間を増やしていきます。

北ノ台小学校の子供たちも、タンポポが地中深くに根をしっかりと張るように、心と体を鍛え、あらゆる困難にもくじけなくて自分の花を立派に咲かせると同時に、どんな場所であっても、社会のために役立つような人になってほしい、という願いが込められて、この校章になったそうです。この校章にはいろいろな願いが込められていたのですね。

今日は、11月5日が北ノ台小学校の誕生日ということで、北野台小学校の校章についての話をしました。お話を終わります。気を付け、礼。



地中深く伸びるタンポポの根、長いものでは1mにもなるという。